

# 緊急 トップインタビュー

新型コロナウイルス

ともに  
乗り越えよう

登米ブラス（名取市）

代表取締役 武山 祐樹さん(39)

各界のリーダーに新型コロナ対策を聞くシリーズ。今回は仙台青年会議所（JC）前理事長で、「登米ブラス」代表取締役の武山祐樹さん(39)です。



一業況は。

亡き父が1973年に興した弊社は、樹脂や非鉄金属の精密加工を専門としています。登米は父の出身地で、ブラスは造語で「まだ世にない価値を生み出す」との気概を込めたそうです。現在の取引先は国内外の自動車や半導体メーカー。コロナ禍による取引先の休業や減産で受注は減りましたが、それでも2割程度。リーマンショックと東日本大震災の経験から対策を取ってきたことが功を奏しました。

一どんな対策を。

一つ目は設備投資を毎年重ね、技術の幅を広げてきたこと。二つ目は協業の強化です。一つ目と矛盾するようですが、不得意分野ま

## 在宅勤務で社員にも活気



で手を出すのは得策ではないので、例えば板金などは他社と組むと割り切り、連携に力を入れてきました。三つ目は顧客の開拓。10年以上前から多様な業種の企業を訪ね、弊社の強みを発信し続けました。結果的に市況に影響されにくい体質になったと思います。

一かねて在宅勤務を取り入れてきました。

在宅勤務は、機械設備を必要とする町工場では難しいと言われていますが、弊社は15年も前から実践しています。社員25人のうち、一時は4人が自宅に機械を置き、作業をしていました。通勤時間がなくなりマイペースで働ける上、出来高高いにした給与は増えました。弊社は社員の平均年齢が40歳と若く、女性が半数。残業はなく、離職者はほとんどいません。JCで学んだ組織運営を参考に、現場がより活気づく会社にしていきます。

### information

樹脂加工の技術を生かして、飛沫（ひまつ）拡散防止のパーテーションを商品化。先日、仙台市に80枚、名取市に20枚を寄贈した。サイズなどはオーダーメイドで対応する。連絡先は022(383)5588。

企画・制作／河北新報社営業局